



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.1

令和5年4月6日
京都市立東山泉小中学校
校長 岩田 智典



東山泉小中学校開校10周年の年

先週まで満開であった東西の泉桜も新学期を待ちきれず散ってしまいましたが、新たに青葉が芽吹きはじめ、葉桜になるのが楽しみです。

本日始業式が行われ、東学舎で94名の6年生が真新しい標準服に身を包み、進級式を迎えることとなりました。そして明日、西学舎では81名の1年生が入学してきます。全校児童生徒数741名、教職員88名という陣容で令和5年度を迎えます。そして東山泉小中学校にとって10年目の幕開けです。開校時は693名でスタートした東山泉ですが、10年間で50名近く児童生徒数が増え、義務教育学校としての歩みを着実に深めています。



「泉のごとく人材を輩出するとともに、子どもたちの心の憩いとなる学校になって欲しい」という願いを込めて選ばれた校名、東山泉」

「自分たちの住んでいる東山、我が町京都を大切に、日本そして世界を舞台に活躍する人になって欲しいという願い」



東山泉小中学校が開校した当時の思いを引き継ぎつつ、時代に合った新しいものを取り入れながら、「不易流行」を合言葉に、10周年の報告が出来れば、と考えております。

日頃、学校運営協議会を中心に地域の方々にはご支援、ご協力をいただき感謝しております。今後も地域に愛される学校づくりを目指して、教職員一同教育活動を推進してまいります。令和5年度も何卒よろしくお願いいたします。

学校教育目標 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

1st ステージ

「あたたかく 思いやりのある児童
ねばり強く あきらめない児童」

目指す子ども像

「人を慮りながら
理想の実現を追求し続ける児童生

2nd ステージ

令和5年度「目指す子ども像」

向学 主体的に取り組み、知的好奇心を持つ児童生徒
才知 失敗を恐れずに挑戦し、他人と協力し、探究し続ける児童生徒
立志 社会や人とのつながりを大切にする児童生徒

「向学 才知 立志」は東山泉小中学校の校是（教育上の根本精神として定められた事柄）であり、開校以来大切にしてきたものである。